

平成30年（2018年）12月20日

山形大学のインターンシップが全国最優秀賞を獲得 ～低学年・地域密着型の取り組みが文部科学省から高く評価～

【本件のポイント】

- インターンシップを実施する大学等を文部科学省が今年度から初めて表彰、山形大学のインターンシップが第一回最優秀賞を獲得
- 大学1年生からキャリア意識を高める取り組みや、本学と山形県中小企業家同友会との組織的な連携が高く評価
- 本インターンシップに対する学生満足度は98%、キャリア意識や学習意欲の向上など、履修学生の進路選択活動にも大きな役割を果たす



【概要】

文部科学省では、インターンシップ（企業等での職業体験）のさらなる充実に向けて、大学等が実施するインターンシップを公表する制度を平成30年2月に創設しました。同制度には、全国163校の大学や高等専門学校等が自校で実施する、インターンシップ計302プログラムが登録されています（平成29年度実績）。

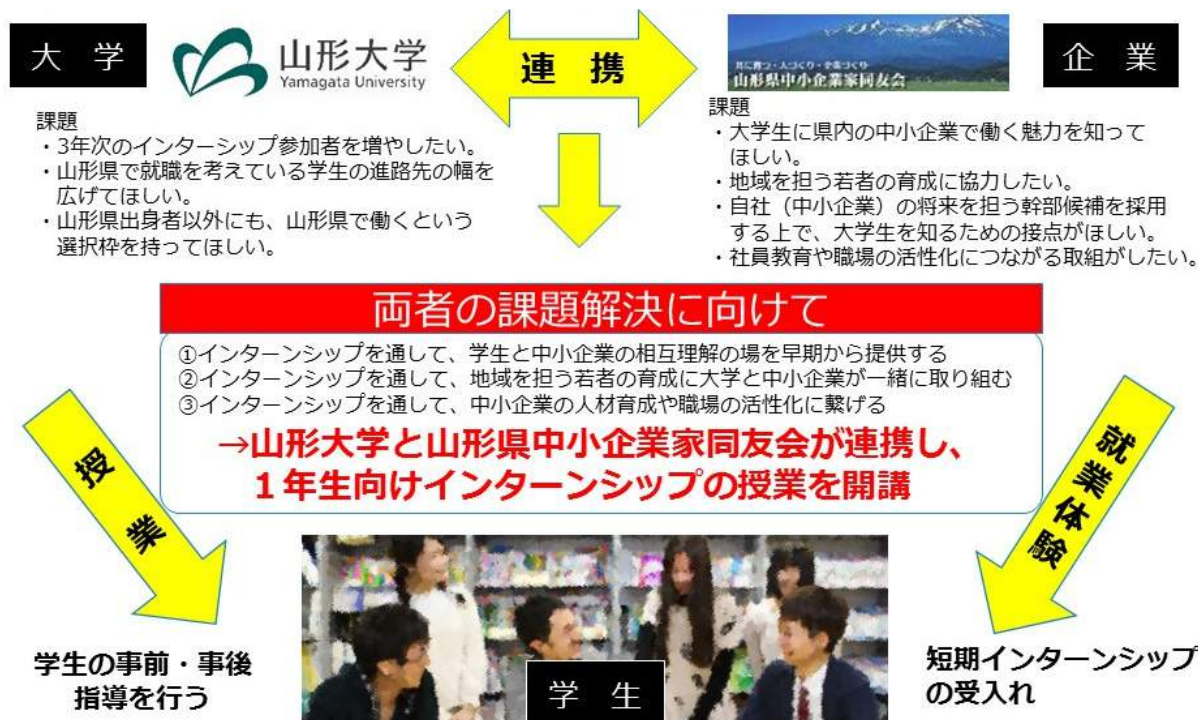
そのプログラムの中から、他の大学等や企業へのモデルとなるインターンシップを表彰する制度が今年度創設され、山形大学が同制度初の最優秀賞に選出されました。（最優秀賞1校、審査員特別賞1校、優秀賞6校）
※届出制度163校のうち審査対象大学等は77校（大学68校、短期大学校5校、高等専門学校4校）

【山形大学のインターンシッププログラム】

「フィールドワーク 山形の企業の魅力（プレインターンシップ）」（平成29年度：1年生43人が参加）

- 評価ポイント①：低学年（1年生の授業として開講、早期の就業体験を通じてキャリア意識を高める）
- 評価ポイント②：地域連携（受入先を地元中小企業に絞り、中小企業の理解促進につなげる）
- 評価ポイント③：モニタリング（参加学生のキャリア意識等の変化を追跡調査し、効果を検証）

※受入企業：山形県中小企業家同友会に加盟企業の内25社



【今後の展望】

●学生へのキャリア・就職支援を充実

本学の特徴である基盤共通教育を通じて、低学年からのキャリア教育の質向上を目指していきます。（基盤共通教育キャリア系科目履修者は学生約 2,000 名（平成 30 年度前期・後期科目合計）

本学のキャリア教育は、日本経済団体連合会「今後の採用と大学教育に関する提案（平成 30 年 12 月 4 日）」にある「初年次におけるキャリア教育」を先駆けて取り組んでいます。今後は、学生と地域で働く人との接点を増やすなど、地域企業と連携したキャリア・就職支援を充実させ、地域創生・若者の地域定着に貢献します。

●インターンシップの普及への取り組み

インターンシップの普及に向けて、山形大学のプログラムの PR・発信を各シーンで継続していきます。

《 講演予定等 》

- ・1 月 10 日 平成 30 年度 COC+シンポジウム「オールやまがたによる若者定着を目指して」にて本インターンシップ事例報告（山形県中小企業家同友会社員共育委員会委員長、田宮印刷(株)阿部常務取締役）
- ・1 月 29 日 独立行政法人日本学生支援機構主催「平成 30 年度インターンシップ専門人材セミナー ～基礎編～」にて松坂准教授がパネルディスカッションに参加
- ・1 月 30 日（予定） 中小企業家同友会全国協議会主催のイベントにて山形県中小企業家同友会と松坂准教授が講演予定
- ・2 月 26 日（予定） 東北インターンシップ推進コミュニティ（東北地方の各大学連携組織）主催の研修会にて松坂准教授が講演予定

【参考】

審査員特別賞：

恵泉女学園大学

優秀賞：

長岡技術科学大学 大阪大学 亜細亜大学 東京工科大学 湘北短期大学 仙台高等専門学校

※インターンシップに関する届出や表彰の各制度の詳細については、文部科学省の HP をご覧ください。

- 大学等におけるインターンシップ制度の公表について（文部科学省）

http://www.mext.go.jp/b_menu/internship/1401051.htm

- 大学等におけるインターンシップ表彰の申請について（文部科学省）

http://www.mext.go.jp/b_menu/internship/1408338.htm

表彰式の様子
(12月10日（月）東京開催)



松坂准教授と山形県中小企業家同友会松岡理事



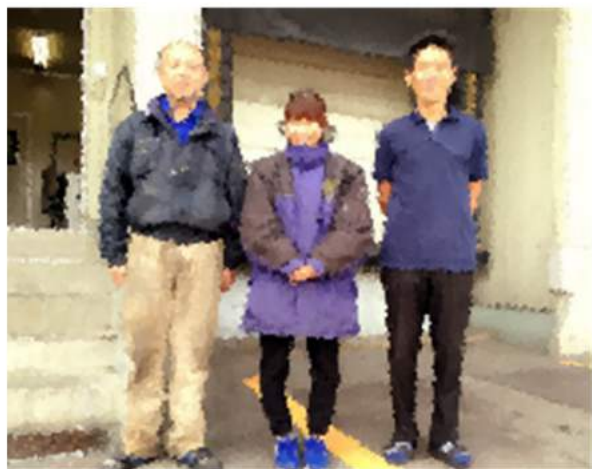
文部科学省副大臣からの表彰

お問い合わせ

学術研究院 准教授 松坂暢浩（キャリア教育）

TEL. 023-628-4899

山形大学と県内中小企業団体の連携による1年生向けインターンシップ



インターンシップ実習風景

